

教育支援活動について

■ラオス 高等教育支援



2014年からサポートしているラオスの高等教育支援、ヴァサバンさんとシーヨンさんが高校を卒業しました。ヴァサバンさんはウドムサイの大学に合格、医学の勉強をするそうです。シーヨンさんは警察官の試験を受けて、いまは結果を待っています。ポンサリー県の田舎の村に暮らす彼女たち、親は農家で、兄弟も多いです。特に女の子たちは進学チャンスの少ないので、こうしてサポートに関わるとても嬉しいですね

■ラオス ノンテノイ小学校 図書スペース



関西の学生団体、インコネさんがサポート下さっている、ノンテノイ小学校。敷地内に図書スペースが完成！予想より立派な仕上がり。
<https://www.facebook.com/infiniteconnection617/>

■ラオス ノンテノイ中学校 図書室



インコネさんがサポートして下さっているノンテノイ中学校。政府も参加してのプロジェクトになり周辺3村ではじめての中学校。プロジェクトが大きくなったため図書館も建設されました。

■ネパール けん玉のご寄付



先日、京都グローバルワイズメンズクラブさんから頂いたけん玉などの玩具をSindu Primary Schoolに運びました。有難うございます！アウトカーストの子ども達50名、障がい児15名が通う（障がい児は敷地内で寝泊まり）学校です。以前に建設した盲学校の近くの学校です。

■ネパール マンガラデビクワバニ小学校



京都グローバルワイズメンズクラブさんがネパール マンガラデビクワバニ小学校に来て下さいました！
沢山のノート、鉛筆、ボール、文具類をカトマンズで購入して村へ。このエリアは切り立った場所が多く元々学校があった場所も崖？のような立地でした。ここでは危ないということで少し平らな土地を買って、学校再建です。クワバニも被災村です。全ての校舎が完成して全員が通えるようになるまではまだ時間がかかりそうですが、こうして屋根や壁がある環境で学べることに感謝です。皆さま有難うございました！

■ネパール 孤児院訪問



京都グローバルワイズメンズクラブの皆さんが孤児院を訪問して下さいました！ビスケットとラーメンを届けました♪かれこれ五年通っている孤児院、子どもたちがいつも明るく楽しそうなのは、ここでの生活が幸せな証拠だと思います。いつも物資をご寄付いただいているコロスキップさん、ありがとうございます！

■ラオス パークドン幼稚園

株式会社ケーメックスの皆様とパークドン幼稚園へ！もともと小学校はあり、その中の一室を幼稚園がわりに使っていました。地域には幼稚園に通えないのが沢山。今回、ケーメックス様に幼稚園校舎をサポート頂き、3教室が完成！学校に到着すると、子どもたちが手作りの旗をもって待っていてくれました。校舎には開校式の案内の垂れ幕、テープカットのお花も準備。村人たちの協力に感謝です。



■クワンパワン小学校 制服のお届け



■制服づくりは障がい女性と少数民族女性が担当しています（Support for Women's Happiness）

女性支援の活動と連携している「制服プロジェクト」。障がい女性と少数民族女性が職業訓練を受けるセンターに制服づくりを指導しました。

国際学校建設支援協会が通う学校には、制服を買う事ができない家庭が1割程度は確実に存在しています。そういった家庭の子どもたちが、学校に来づらくならないよう、制服を支援するプロジェクトです。

学校の先生に確認し、制服が必要な生徒のリストを作ります。制服サポーターさんから頂いた支援金で材料を買い、障がい女性達の工賃を支払い、制服を作っています。子どもの制服は成長を見越してびったりサイズでなくてもいいので、職業訓練を受けている女性達にはちょうどいい練習になっています。

お陰様で2017～18にかけて130着の制服を作り、配布することができました。



Support for Women's Happiness



■カブー小学校



■IRISさん久々に波乱万丈なツアー。カムアン県は洪水被害で400村のうち320以上の村が被害を受けたとことで役所対応が追いつかず支援校でのアクティビティができないという結果。みんな楽しみにしていただろうに・・・と別県の学校にいったらベトナムのトラックが立ち往生で足止め、車の調子が悪くて足止め、深夜まで待機。こういう時は重なりますね・・・。今年は至る所で洪水などの水害が起こって混乱しています。※雨季は女性・障がい支援に集中させて頂きました。有難うございます。秋冬、教育支援に戻ります。学校関係の渡航は秋～春を予定しております※

インコネさん、カブー村へ。小学校校舎に幼稚園室も含むことに。今日は聞き取りと子供達との交流でした

■サンティス小学校



学生団体IRISさん、サンティス小学校を訪問しました。IRISさんとの建設プロジェクトは3校目になります。次年度はこれまで作った学校の付帯設備のサポートにチャレンジしたいそうです。今日はゴミ拾い授業を実施しました。ごみを拾う事、ゴミ箱に捨てる事など、基本的な事ですが、繰り返し教えます。

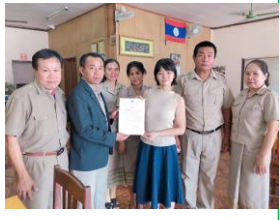


ラオス アッタプー県でダムが決壊して村が流されるという痛ましい事故が起きました。アッタプー県は南部に位置しており、住民のほとんどが少数民族の地域です。救出された人々は南部の避難所暮らしをし、現在少しずつ仮設住宅に移っているとのことです。女性支援の活動で避難所に布ナプキンを寄付させて頂きました。ボランティアの皆さん、有難うございました。



■市長さんからの手紙 ホンカープロジェクト

ライオンズクラブさんからオファーを受けていた書類。ラオスらしく、なかなか進まずでした。通いつめてやっと貰うことができました！ライオンズクラブさんも教育局に足を運び、副市長さんとの会食や市長さんとの面会など、ステップを一つ一つクリアしてくださいました。ありがとうございました。本プロジェクトは2019年始動を予定しています。



■運動会



学生団体IRISさんがサンティス小学校で運動会を開催。①ルールを守ること②対戦相手を傷つけないこと③チームで協力すること④互いに応援すること をみんなで約束。

チーム分けから大変ですが、学生さんらしく頑張ってくれました。

■タパークでも運動会！



学生団体IRISさん、タパーク小学校を訪問、元気に運動会を実施しました。教室も可愛く綺麗に使ってくれていますね、室内は箒かけをしてありました。またIRISさんの写真もたくさん貼ってありました。IRISさんはこの6年で3つの学校建設をサポートしてくれました。どちらかというと自由な雰囲気の団体さんですが現地に来てからの集中力が高いですね、昨日の運動会の反省点をいかして前回よりスムーズに実施してくれています。

■マンガラデビ小学校



富士産業株式会社さまがネパールのマンガラデビ小学校を訪問してくださいました。マンガラデビは被災校になります。最初の2年は土の上で勉強する青空教室の状態が続きました。暑い日、寒い日、大変だったと思います。また雨が降ると授業ができなくなっていました。敷地はまだ瓦礫が沢山のこっていて凸凹です。その敷地のなかに、今回6教室を応援頂きました。他団体さんからの4教室建物も向かいに建設中で全部が完成すれば2子どもたちが学年ごとに勉強できるようになりますね。被災してからのネパールは物事がゆっくりになったり急に進んだり今までなかった問題（被災村同士でのトラブルなど）が起きたりとにかく目まぐるしい3年だったと思います。ネパールのあれこれにお付き合い下さり、有難うございます。今回はアボカドの木を植樹しよう！と持っていました。また、富士産業様より鉛筆、赤青鉛筆、ノート、サッカーボール、バレーボールキャンディを配ってもらったり子ども達と一緒にダンスしたり暑い中の交流で汗だくですね。まだまだ課題の多いネパールですが成長を見守っていただければ幸いです。

を頂きました。有難うございます。



■ムアンスン幼稚園

みのり福祉会さんが宮崎からラオスへ来てくださいました！ご支援くださったムアンスンは幼稚園教室を確保できるようになりました！日本からのお土産のお菓子里に子どもたちも先生も嬉しそうですね。皆でお祝いの儀式パーシーを実施したり、子どもたちが踊りを披露してくれたり、とアットホームな雰囲気でもセレモニーを行いました。幼稚園校舎は綺麗につくりにかえてもらいましたが、既存の小学校校舎は天井がなかったり、トイレがたりなかったり、課題はまだあるので、検討したいと思います。



■次年度の活動

女性支援について 2018年は半年ほど教育支援の活動をお休みさせて頂き、女性支援の活動に注力させて頂きました。おかげ様で障がい女性達のチームをローカルNGOとして登録し、障がい作業所ソンパオとして正式に始動することができました。現在18名の女性たちが職業訓練を受け、製品づくりを行っています。運営も落ち着いてきましたので、2019年は教育支援の分量を戻しながら、様子をみたいと思います。ネパールのプロジェクトについて 2015年の被災以降、ネパール国内の不安定さがより加速しています。これまでは大変ながらも、素朴な一面もありました。支援慣れを危惧されている国の1つでもあるため注意深く見守っていたつもりですが、震災支援金がまわりはじめた2017年以降、賄賂の金銭の要求をする村が増え、それにこたえないと悪評を新聞に書くぞといった脅しをかけてくる担当者も出てきました。支援金が正確に使われていないケースを多く見かけるようになり、いわゆる「震災支援金」が使いきれるまではこのような状況が続く可能性があります。より効果が出やすい所に注力していかないと私たちのような小さな団体は力が発揮できません。2019年も様子を見ながら、ネパールのプロジェクトは数を抑えて実施できればと思います。